

平素は当社製品をご愛用いただき、誠にありがとうございます。

本製品につきまして、お客様からのご要望にお応えするため仕様変更を行いました。

製品の仕様変更に伴い、取扱説明書にも変更がございますので、本紙にてご案内させていただきます。

また、一部補足説明も記載しておりますので、こちらも併せてご参照ください。

今後も、お客様に安心してご使用いただけますよう、更なる品質の向上を徹底して参りますので、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

補足説明があるのは以下の項目です。

●6ページ 乾電池の装着または交換方法

●7ページ 上フタの開閉方法

説明に変更があるのは以下の項目です。

●11ページ タンク・配管内の清掃方法

●12ページ 修理を依頼される前に

トレー付L型ホルダーについて

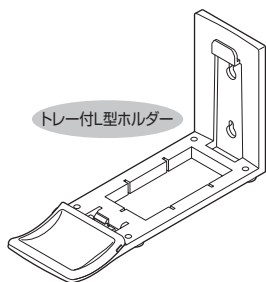
仕様変更に伴い、「ELEFOAM UD-6000F」は、形状にも変更がございます。

そのため「旧仕様のトレー付L型ホルダー」には取り付けることができません。

同様に形状変更を行った「新仕様のトレー付L型ホルダー」が必要となります。

“新仕様のトレー付L型ホルダー”が必要な場合は交換させていただきますので、当社お問い合わせ窓口までご連絡ください。

トレー付L型ホルダー



お問い合わせ窓口：サラヤ株式会社 大阪市東住吉区湯里2-2-8 TEL.06-6797-2525

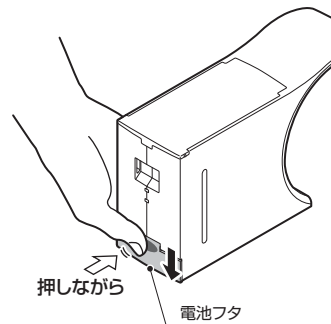
MM 20130904-00

補足説明がある項目【6、7ページ】

取扱説明書6ページ「乾電池の装着または交換方法」、7ページ「上フタの開閉方法」にて、電池フタ、もしくは上フタが開けにくい場合は、以下の方法をお試しください。

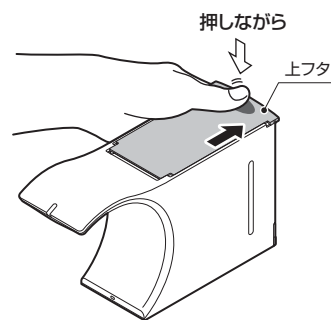
電池フタの開き方

電池フタの中央上部（●で示したあたり）を押しながら、下にスライドして開けます。



上フタの開き方

上フタの後部（●で示したあたり）を押しながら、後ろにスライドして開けます。



説明に変更がある項目【11ページ】

取扱説明書11ページ「タンク・配管内の清掃方法」が変更になりましたので、タンク・配管内の清掃は次の手順で行ってください。

タンク・配管内の清掃方法

以下の場合にはタンク・配管内を水洗いしてください。

- 長期間使用しない場合
- 使用薬液を変更する場合
- 吐出状態に異常がある場合
 - ・タンク、配管内にゴミが入っている
 - ・石けんが配管内で固着している 等

1 タンクの清掃

- ①上フタを開けます。
- ②電源スイッチを「OFF」にします。
- ③天板を開けます。

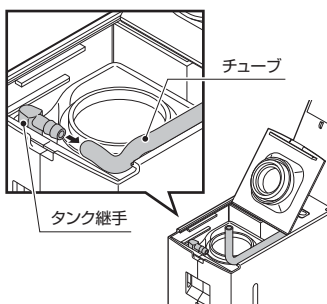
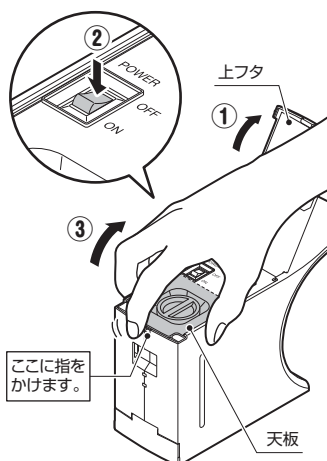
注意

- 天板は固めに固定されているので、つめで持ち上げるとつめが割れる恐れがあります。
- 薬液が飛び可能性があるため、製品正面を体のほうに向けて天板を開けてください。

- ④タンク継手からチューブを外します。

注意

チューブは無理に引っ張らないでください。

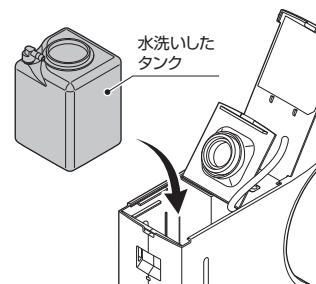
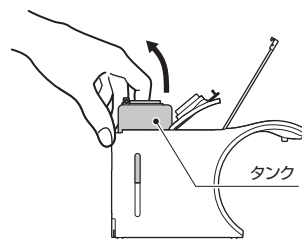


- ⑤タンクを取り出し、タンク内を水洗いします。

※右図のように後ろに引っ張るように持ち上げると取り出しやすくなります。

- ⑥タンクの水気を切り、よく乾かします。

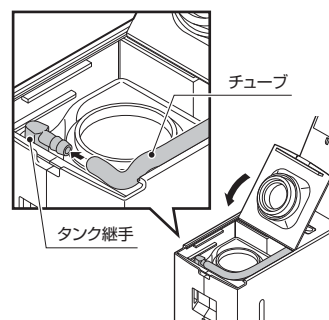
- ⑦タンクを戻します。



- ⑧タンク継手にチューブを取り付けます。
- ⑨天板を閉めます。

注意

- チューブは確実に取り付けてください。
- チューブが折れ曲がらないように注意してください。



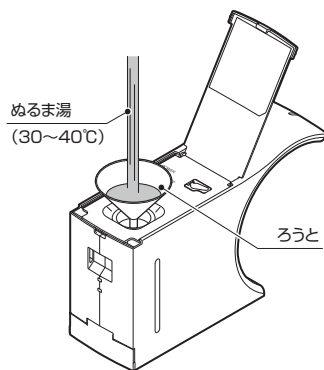
説明に変更がある項目【11ページ】(つづき)

2 配管内の清掃

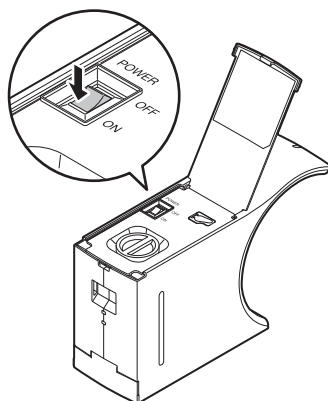
- ①タンクの1/5程度まで、ぬるま湯（または水）を入れます。

注意

- お湯を扱う際は、やけどをしないように注意してください。
- ぬるま湯を入れるときは、付属のろうとを必ず使用してください。
製品内に水が入ると故障の原因になります。



- ②電源スイッチを「ON」にします。



- ③センサー前に手のひらを差し出します。
⇒ぬるま湯が1回吐出します。
- ④そのままセンサー前に手のひらを差し出した状態で待ちます。
⇒5秒後に連続吐出を行います。

注意

- 連続吐出は、最大30秒間です。
 - 連続吐出は、途中で手を引くと停止します。
 - 連続吐出は、電源を「ON」にした直後、1回のみ動作可能です。
再度連続吐出を行う場合は、電源を入れ直してください。
- ⑤吐出状態が正常になるまで、上記の清掃を数回繰り返します。
- ⑥正常に吐出することを確認できたら、清掃終了です。



説明に変更がある項目【12ページ】

取扱説明書12ページ「修理を依頼される前に」にて、「薬液が吐出しなとき」、「泡の状態が悪いとき」は以下の方法をお試しください。

薬液が吐出しなとき

ポンプに石けんが固着している可能性があります。
以下の方法で取り除いてください。

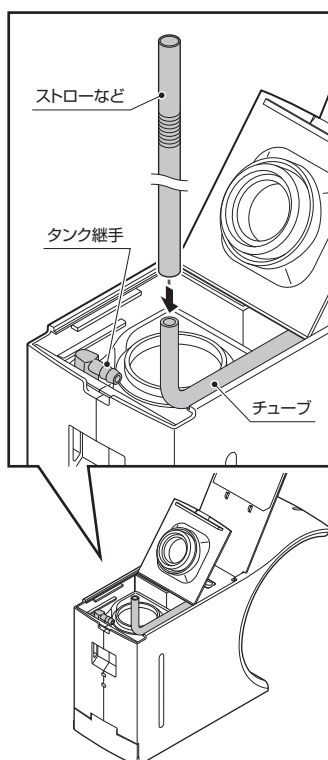
- ①上フタを開けます。
 - ②電源スイッチを「OFF」にします。
 - ③天板を開けます。
 - ④タンク継手からチューブを外します。
- ※①～④は「タンク・配管内の清掃方法」(裏面)を参照。
- ⑤ストローなどを使ってチューブへ空気を送り、ポンプの石けん固着を取り除きます。

口で空気を送るときは、吸い込まないようにご注意ください。

- ⑥タンク継手にチューブを取り付けます。
- ⑦薬液の吐出を確認します。
- ⑧正常に吐出することを確認できたら、天板を閉めます。

注意

- チューブは確実に取り付けてください。
- チューブが折れ曲がらないように注意してください。



泡の状態が悪いとき

- ①上フタを開けます。
- ②逆止弁フタを取り外します。
- ③逆止弁を取り外します。
- ④逆止弁を水洗いし、ゴミなどを取り除きます。
- ⑤良く乾かしてから、逆止弁を取り付けます。
- ⑥逆止弁フタを取り付けます。
- ⑦薬液を吐出させ、泡の状態を確認します。
- ⑧正常に吐出することを確認できたら、上フタを閉めます。

注意

- 逆止弁フタ・逆止弁は小さい部品のため、紛失や取り扱いに注意してください。
- 逆止弁フタ・逆止弁の取り外しには、小型のマイナスドライバーなどを使用してください。
- 逆止弁フタ・逆止弁は、傷つけないように注意してください。
- 逆止弁フタ・逆止弁は、確実に取り付けてください。
- 逆止弁フタを取り付けるときは向きに注意してください。
ツメのあるほうが上です。

